

栃木市立美術館企画展「喜多川歌麿と栃木の狂歌」の開催について

1. 目的

狂歌名を持ち狂歌本の絵も手掛けた浮世絵師・喜多川歌麿（?-1806）は、狂歌を通して栃木の豪商・通用亭徳成（通称釜喜）と交流しました。本展は歌麿の画業や同時代の絵師たちの浮世絵版画や肉筆画、栃木や各地方の狂歌やその発展などを、歌麿と栃木の狂歌を中心に紹介します。

2. 会期

10 月 10 日（金）～12 月 14 日（日）

前期：10 月 10 日（金）～11 月 9 日（日）

後期：11 月 13 日（木）～12 月 14 日（日）

3. 所在地

栃木市入舟町 7-26

4. 開館時間

9 時 30 分～17 時（入館 16 時 30 分まで）

5. 休館日

月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日（土・日・祝日の場合は開館）、
10 月 14 日（火）、11 月 4 日（火）、11 日（火）、12 日（水）、25 日（火）

6. 展示場所

栃木市立美術館 展示室 A、B、C

7. 展示点数（予定）

約 200 点

喜多川歌麿《青楼三美人》^{せいろう} 寛政 4-5 年（1792-93）頃 大判 個人蔵（前期展示）

喜多川歌麿《江戸の園花合藝國の花》^{その はなあわせ げいこく} 寛政 2 年（1790）頃 間版 個人蔵（後期展示）

「狂歌添削状」^{きょうかてんさくじょう} 天明初期 個人蔵（通期展示）

8. 観覧料

一般・大高校生 800 円（640 円）、中学生以下無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者 1 名は無料

※毎月第3日曜日は「家庭の日」として、中学生以下の同伴者2名迄無料

9. 関連イベント

(1) 学芸員によるギャラリートーク

日 時：10月18日（土）、11月30日（日）14時～1時間程度

集合場所：展示室A

対 象：どなたでも（小学生以下は保護者の同伴必須）

参 加 費：無料（要当日の企画展観覧券）

(2) 学芸員によるキッズギャラリートーク

日 時：10月19日（日）14時～14時30分

集合場所：美術館ロビー

対 象：小学生（保護者の同伴必須）

参 加 費：無料

(3) 講演会「喜多川歌麿と栃木」

- ・歌麿と栃木のゆかり、歌麿の浮世絵について、歌麿研究の第一人者である浅野秀剛氏にご講演いただきます。

講 師：浅野秀剛氏（大和文華館館長、あべのハルカス美術館館長）

日 時：11月1日（土）14時～15時30分

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）大交流室

対 象：どなたでも（小学生以下は保護者の同伴必須）

定 員：100名（要事前申込、先着順）

参 加 費：無料

申 込：9月20日（土）10時～ 電話受付

(4) 講演会「天明狂歌の大流行と栃木の狂歌師」

- ・天明時代に大流行した狂歌と、栃木の狂歌師についてご講演いただきます。

講 師：小林ふみ子氏（法政大学教授）

日 時：11月23日（日）14時～15時30分

場 所：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）大交流室

対 象：どなたでも（小学生以下は保護者の同伴必須）

定 員：100名（要事前申込、先着順）

参 加 費：無料

申 込：9月20日（土）10時～ 電話受付

(5) ワークショップ「浮世絵摺り体験！」

日 時：①11月2日（日）、②11月30日（日）、③12月6日（土）

各回 10時～12時

場 所：多目的室（つなてみち）

対 象：①③高校生以上、②小学校 4 年生～中学生とその保護者

定 員：①③5 名、②5 組 10 名（要事前申込、先着順）

材 料 費：1 人 300 円（和紙、絵の具代等）

※作品鑑賞を含むため、高校生以上は要当日の企画展観覧券

申 込：10 月 4 日（土）10 時～ 電話受付

（6）オリジナル消しゴムはんこづくり

・デザインカッターを使い消しゴムでオリジナルはんこを作ります。

講 師：消しゴムはんこ屋おさと氏

日 時：10 月 25 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：多目的室（つなてみち）

対 象：小学校 4 年生以上

定 員：12 名（要事前申込、先着順）

材 料 費：1 人 500 円

※作品鑑賞を含むため、高校生以上は要当日の企画展観覧券

申 込：10 月 4 日（土）10 時～ 電話受付

（7）歌麿展×市内「雪月花ブランド」コラボ！

・栃木市立美術館の企画展「喜多川歌麿と栃木の狂歌」と栃木市内で展開されている「雪月花ブランド」がコラボ！「雪月花ブランド」のグッズあるいは飲食物を購入で、各店舗先着 20 名様にグッズをプレゼント！

期 間：10 月 10 日（金）～12 月 14 日（日）

場 所：市内応募店舗

※定休日や開店時間は各店舗による特製グッズ配付場所＝各施設

※「雪月花ブランド」詳細は歌麿協議会公式サイト、本コラボについては栃木市立美術館・文学館の公式サイトでご確認ください。

10. 展示案内

10 月 9 日（木）10 時～12 時（学芸員が案内します）

【問合せ先】

教育委員会事務局 美術・文学館課
（栃木市立美術館）

担当：河野

電話：0282-25-5300

栃木市立文学館企画展「『歷程』と逸見猶吉、岡安恒武」の開催について

1. 目的

現代詩の雑誌『歷程』は、昭和 10 年 5 月に本市藤岡町ゆかりの詩人である逸見猶吉（1907～1946、本名：大野四郎）が初代編輯兼発行人となり、草野心平、中原中也ら 8 名によって創刊されました。現代詩を代表する詩人たちが集ったこの雑誌は、戦時中の中断を経て戦後に復刊、現在に続いています。

本展では、昭和 27 年に同誌の同人となった本市栃木町出身の詩人・岡安恒武（1915～2000）とともに、二人の生涯と作品を収蔵品を中心に紹介します。

2. 会期

令和 7 年 10 月 11 日（土）～令和 8 年 3 月 22 日（日）

3. 所在地

栃木市入舟町 7-31

4. 開館時間

9 時 30 分～17 時（入館 16 時 30 分まで）

5. 休館日

月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日（土・日・祝日の場合は開館）、
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6. 展示場所

栃木市立文学館 2 階多目的室

7. 展示点数（予定）

約 40 点

歷程関係

『歷程（復刻版）』

『歷程詩集 紀元二千六百年版』（昭和 16 年、歷程社編、山雅房^{さんがぼう}）

逸見猶吉関係

『現代詩人集 3』（昭和 15 年、草野心平他著、山雅房）

『定本 逸見猶吉詩集』（昭和 41 年、菊地康雄編、思潮社）

『逸見猶吉ノオト』（昭和 42 年、菊地康雄著、思潮社）

藤原定自筆原稿「逸見猶吉詩集」

岡安恒武関係

『GOL^ゴLGOL^ルTHA^{ゴダ}』(昭和28年、歷程社)

『詩集 濕^{しつげん}原』(昭和46年、歷程社)

『詩集 場についての異言・十章』(昭和53年、詩学社、個人蔵)

『詩集 故郷^{こきょう}』(昭和57年、花神社^{かしんしゃ})

『青いデニムのズボン』(平成7年、思潮社)

8. 観覧料

一般・大高校生 330 円 (260 円)、中学生以下無料

※企画展観覧料で常設展示観覧可

※() 内は 20 名以上の団体料金

※身体障害者手帳等の交付を受けている方とその介助者 1 名は無料

※毎月第 3 日曜日は「家庭の日」として、中学生以下の同伴者 2 名迄無料

※11 月 3 日 (月・祝「文化の日」) は無料

9. 関連イベント

(1) 文学散歩「逸見猶吉ゆかりの地めぐり」

日 時：未定

集合場所：渡良瀬遊水地内

対 象：どなたでも (小学生以下は保護者の同伴必須)

定 員：20 名 (要事前申込、先着順)

参 加 費：無料

案 内：渡良瀬遊水地ガイドクラブ

(2) ワークショップ「ミニヨシ灯りづくり」

日 時：12 月 7 日 (日) 10 時 30 分～12 時

集合場所：文学館 1 階とちぎサロン

対 象：小学生以上

定 員：15 名 (要事前申込、先着順)

参 加 費 (材料費)：400 円

講 師：渡良瀬ヨシ愛好会

(3) 学芸員によるギャラリートーク

日 時：10 月 25 日 (土)、12 月 14 日 (日)、令和 8 年 3 月 7 日 (土)

各回 13 時 30 分～14 時

集合場所：2 階多目的室前

対 象：どなたでも

参 加 費：当日の企画展観覧券

【問合せ先】

教育委員会事務局 美術・文学館課
(栃木市立文学館)

担当：石川

電話：0282-25-5400